

分野：②

妖精の棲める森の手入れをしよう

環境アドバイザー

足立 圭子

対象

おおたかの森トラスト・
こどもエコクラブ（35人）

所要時間



4 時間

場所

所沢市と狭山市にまたがる平地林

実施時期

令和3年11月21日

概要

所沢市と狭山市にまたがる平地林でアズマネザサを見つけてハサミで刈り取り妖精の棲める森の手入れと散策路に杭を打ちロープを通す体験します。

プログラムの
ねらい

畑と屋敷林、平地林を眺めながら、秋の生き物を探しながら初めて活動を行う南入間野の森に入る。様々な平地林の姿を観察し、10年前に萌芽更新を行った森との違いを観察し春の妖精が棲める手入れを行う。保護活動を行っているすぐ隣で樹木が伐採されている様子も見て森の大切さを感じてもらおう。

プログラムの内容

1 徒歩で現地へ（30分）

森の再生地に集合して畑や屋敷林の間を歩き、所沢市鎌倉街道緑地と狭山市南入間野の森の秋の生き物を観察しながら活動場所に到着

2 アズマネザサを刈り取る（80分）

野草の中からアズマネザサを見つけ出し、ハサミで根元 から刈り取り入れ物に入れて一か所に積む。10年間に 萌芽更新を行っているので背の低い樹木や野草の種類が増えている。

アズマネザサを刈り取るとスミレやシュンランが姿を現してくれた。

3 森の中でお弁当（40分）

4 散策路に杭を打つ（60分）

貴重な野草を踏みつけないように、地域の人たちが通りやすいように両側に杭を打ち込みロープを通す。

すぐそばの伐採現場を見学

5 徒歩で森の再生地に戻る（20分）



受講者の反応 ササを丁寧に切ってあげるとスミレがたくさん見つかった。刈り取ったササを積んだところに夏になるとヘビの棲家になると聞いてびっくりした。ヘビのお家を作ってあげて良かった。明るい場所と暗い場所に来る生き物が違うことを聞いて、手入れをして良かった。杭を打つ時に中学生や高学年のリーダーがカケヤの使いかたを教えてくれたので上手に打てるようになった。皆で守ろうとしている近くで木をたくさん切っているのを見てとても残念だった。どうしたらこんなバカなことをするのか、鳥や生き物のことを考えると心配になる。